

事業名

Enjoy！ デジタルライフ

事業概要

- 高齢者を対象としたスマートフォン相談会を開催。住民のデジタルスキルが高まり、災害時の情報共有を目的とした自治会グループLINEの登録者が今回のイベントで120名増加した。
- 災害時を想定し、マンション内の防災ツアーを実施。ツアーはオンラインでも配信し、乳幼児がいる世帯や高齢者世帯含め、住民全体での防災力強化につなげた。

実施期間 令和6年6月20日～12月11日

参加人数 約200名

事業総額 約21万1,500円

(地域の底力発展事業助成金 20万円)

役割分担

《企画(約1名)》自治会コミュニティチーム/防災委員会が担当
《会場設営・運営(約20名)》自治会役員、ボランティア(10名)が会場設営、運営等を担当
《告知チラシ配布(約8名)》住民ボランティアがイベントの告知チラシを投函

主な経費(助成対象)

- 謝礼 防災専門家講師謝礼、スマートフォン相談会講師謝礼
- 物品購入費 タブレット、のぼり旗
- 印刷経費 告知チラシ
- 役務費 送料(のぼり旗)
- 委託料 のぼり旗デザイン、告知チラシデザイン

事業の開始から終了までの主な流れ

令和6年

- 6月20日 初回打合せ
- 7月18日 役割分担を検討
- 8月15日 実施内容を検討
- 9月12日 実施内容を検討
- 10月3日 防災ツアーの内容検討
- 11月10日 チラシ作成について検討
- 11月12日 チラシのデザインを検討
- 11月15日 防災ツアー当日の流れを確認
- 11月17日 防災ツアー開催
- 11月19日 チラシのデザインを検討。告知チラシを配布
- 11月20日 のぼりのデザインを検討
- 11月24日 告知チラシを配布
- 11月29日 会場レイアウトを検討
- 11月30日 スマートフォン相談会等当日の流れを確認
- 12月1日 スマートフォン相談会、防災動画上映会等開催
- 12月11日 反省会



12月1日に開催したスマートフォン相談会等のチラシ

デジタルライフの楽しさ伝え、防災力を高める

自治会では日頃からの防災への備えと緊急時の対応として、スマートフォンを活用した仕組み作りに力を入れている。令和6年度は住民が集う「Enjoy！デジタルライフ」を11月17日と12月1日に開催し、デジタルを活用した防災への取組に理解を深めてもらった。

11月17日にはマンション内にある情報通信機器、非常用発電機といった災害が発生した時に重要となる設備などを見学する防災ツアーを実施し、移動の難しい高齢者や小さな子供向けには、防災ツアーの様子をオンラインで中継した。

12月1日には、自治会と管理組合で組織する防災委員会のアドバイザーが講師となり、動画でマンションの防災対策を詳しく紹介したほか、スマートフォンの相談会を開いた。

「被災時あなたがまずすること!」と題した動画上映講演会では、QRコードで簡単にアクセスできるようにして住民向けに防災情報を提供していること、停電時には排水を流してはいけないこと、送水が止まるので水や防災食は各戸で用意していくことなど、非常時の対応や備えを紹介し、約40名が熱心に耳を傾けた。

また、スマートフォンの相談会では、相談に来た高齢者1人ひとりに個別で対応し、QRコードの読み取り

方を中心に通話以外の機能について分かりやすく説明して、使い方を覚えてもらうことができた。



防災ツアーの様子



スマートフォン相談会の様子。
「料理のレシピなど、声で材料名を言うだけで教えてください」という説明に、参加者はさっそく試してみようという表情。便利で楽しめる機能に驚きを隠さない

事業による 成果・効果

LINE公式アカウント登録者数の増加に加えて、自治会への新規加入も

マンション住民の約35%は高齢者（60歳以上）で、「お茶会の時の話から最近のIT社会で取り残されていることが分かりました」と話す副会長の山野さんは、災害時にも活用するLINE公式アカウントへの登録者数を増やすため、今回の事業を企画。スマートフォン相談会の参加者からは「一人暮らしで使い方を教えてくれる人がいないので、とても助かりました」など、好評を博した。今回の事業を通じ、公式アカウント登録者数が増え、半年間で約300名増加。また、新たに40世帯が入会し、住民間のつながり拡大にも弾みがついた。

事業を振り返って

声

デジタルを活用し、防災力を高めたい

「同じ屋根の下で暮らす住民として、温もりのあるコミュニティづくりを進めていきたい」と副会長の山野さんは語る。自治会のLINE公式アカウントでは、自動返信やクーポン発行などの機能を持たせて、興味を持って閲覧する住民の割合を高めている。登録者数は令和6年5月頃の約700名から、12月までに約1,000名に増えた。普段は区のお知らせやイベント、天気、防犯など地域に密着した情報を配信し、災害時には緊急情報を流す。「デジタルを楽しみながら交流を盛んにして、防災の力を高めていく」ということが共通の目標となっている。



会場の準備をする自治会の皆さん。左から二人目が会長の玉井さん